

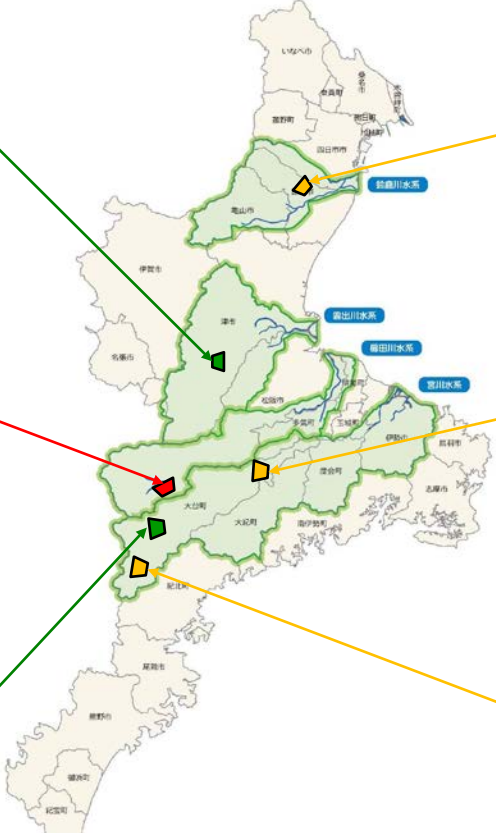
令和2年度における取組状況

令和2年 8月19日

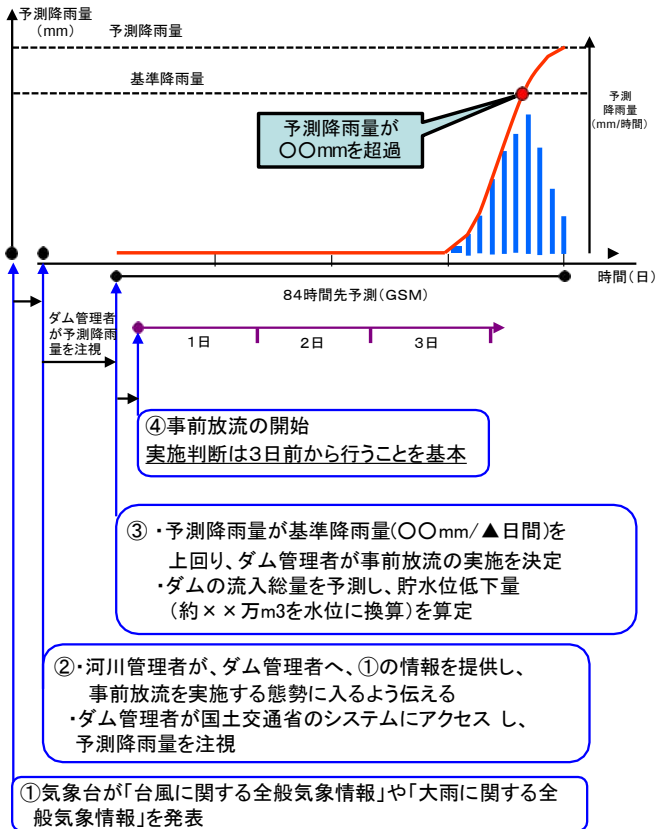
① 既設ダムへの洪水調整強化

- 近年の水害の激甚化を踏まえ、緊急時において既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用できるよう、既存ダムの関係機関と河川管理者が連携して、既存ダムの洪水調節機能を強化するため、令和2年5月29日に「治水協定」を締結。
- 洪水時には、三重四水系6ダムで事前放流により最大で約1,700万 m^3 ※の洪水調節可能容量が一時的に利水容量から確保され、現在より洪水調節機能が約30%強化。 ※協定前：約5700万 m^3 →協定後：約7,400万 m^3
- 今後、大きな台風などでは、洪水調節機能を強化するため、ダムからの放流操作を最も早い場合で、台風来襲などが想定される3日前から始めることとなる。

三重四水系（鈴鹿川・雲出川・櫛田川・宮川）の既存ダム位置図



■事前放流の実施判断の流れ



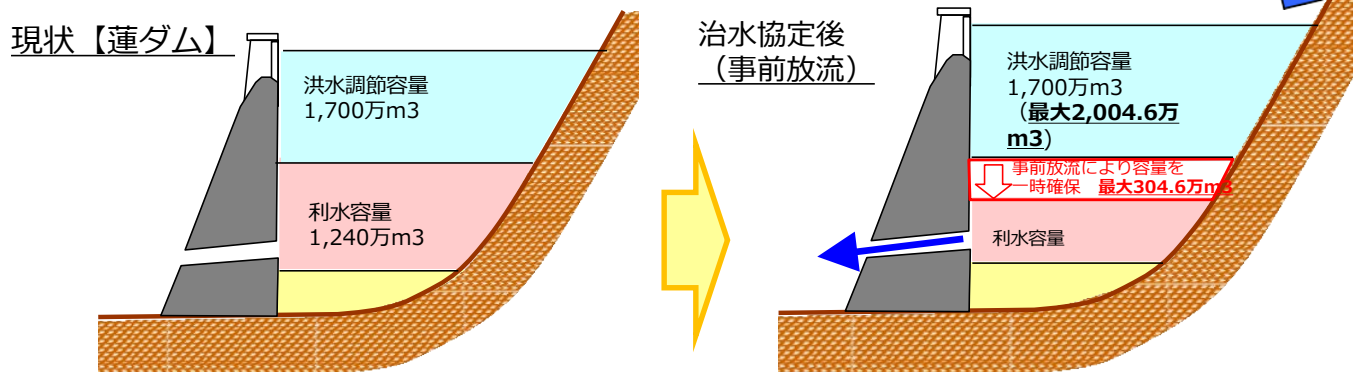
※小規模な農業用ダム等については、季節ごとにあらかじめダムの水位を低下させておくなどの運用(簡易な事前放流)を行う。

① 既設ダム洪水調整強化

三重四水系（鈴鹿川・雲出川・櫛田川・宮川）の既存ダムの洪水調節容量等の概要

水系	ダム名	諸元：（洪水期）			洪水調節 容量率 【最大値】	利水 容量率 【最大値】 ※3	治水協定後				洪水調節に 利用可能な 容量率 【最大値】
		有効 貯水容量 （万m3）	洪水調節 容量 （万m3） 【最大値】	利水容量 （万m3） 【最大値】 ※3			有効 貯水容量 （千m3）	洪水調節 容量 （万m3） 【最大値】	洪水調節 可能容量 （万m3） 【最大値】	合計	
鈴鹿川	加佐登調整池（水機構）	300	0	300	0.0%	100.0%	300	0	30	30	10.0%
雲出川	君ヶ野ダム※1（三重県）	1,970	1,580※2	840※2	80.2%	42.6%	1,970	1,580※2	114	1,694	86.0%
櫛田川	蓮ダム※1（中部地整）	2,940	1,700	1,240	57.8%	42.2%	2,940	1,700	304.6	2,005	68.2%
宮川	宮川ダム※1（三重県）	5,650	2,450※2	5,000※2	43.4%	88.5%	5,650	2,450※2	638	3,088	54.7%
宮川	不動谷ダム（中部電力）	4	0	4	0.0%	100.0%	4	0	3.2	3	80.0%
宮川	三瀬谷ダム（中部電力）	400	0	400	0.0%	100.0%	400	0	578	578	144.5%
四水系計		11,264	5,730	7,784	50.9%	69.1%	11,264	5,730	1,668	7,398	65.7%

櫛田川水系（櫛田川） 治水協定：事前放流のイメージ



- ※1 君ヶ野ダム、蓮ダム、宮川ダムについては、事前放流の運用を実施中。
- ※2 君ヶ野ダム、宮川ダムについては、洪水期の期間により治水容量と利水容量の容量配分が変わるため最大値。
- ※3 利水容量（利水容量率）については、治水協定に基づき洪水時に一時的に洪水調節可能容量として確保されるものであり、治水協定後も最大値は変わらない。

② 小中学校における防災(水災害)教育の実施

R2年度 第2回大規模氾濫減災協議会

- 新学習指導要領（R2年度）の全面実施を踏まえ、**防災（水災害）教育の支援を継続実施**。
- **R2年度は8校を対象に授業を実施予定**（このうち、3校がR元年度より継続実施）。
- 授業の実施に向け、**各校において事前説明（趣旨説明、教材紹介、意見交換等）を順次実施中**。

河川名	学校名	学年	実施予定	備考
雲出川	津市立一志西小学校	4年生	9月上旬	事前説明 実施済み
	津市立香良洲小学校	4年生	9月上旬	事前説明 実施済み ※R元年度対象校
宮川	伊勢市立佐八小学校	4年生	9～11月	事前説明 実施済み
	伊勢市立御園小学校	4年生	10月	事前説明 実施済み
	伊勢市立豊浜西小学校	4年生	9月上旬	事前説明 実施済み ※R元年度対象校
	伊勢市豊浜東小学校	未定	未定	-
櫛田川	松阪市立掃水小学校	未定	未定	※R元年度対象校
	松阪市西黒部小学校	未定	未定	-



昨年度の実施状況①（津市立香良洲小学校）



昨年度の実施状況②（伊勢市立豊浜西小学校）

※R2年8月19日（水）時点

② 小中学校における防災(水災害)教育の実施

- 防災教育の支援の一環として、**ポータルサイトを作成。**
- ポータルサイトのコンテンツとして、「トピックス」、「学校教育教材」、「学習用素材」、「**教員の方へ（e-learning）**」を掲載。

コンテンツ	概要
トピックス	学校や地域において、防災教育を実施した事例、実施のきっかけや実施までの準備・流れ、使用した教材、参加者の反応などを紹介
学校教育教材	学校防災教育用に作成した副読本、学習指導・発問計画、プリントを紹介
学習用素材	学習習用のマイクロモデル（模型）、フォトモンタージュ、防災カードゲーム等の素材・リンク先を紹介
教員の方へ(e-learning)	三重県内で実施された防災教育の試行授業動画（ダイジェスト版）を掲載 ※全4時限、それぞれ2動画掲載（各2分程度）

ポータルサイトのホーム画面



e-learning（試行授業動画（ダイジェスト版））



③ 高齢者の避難行動の理解促進(自主防災組織等の防災講座)

R2年度 第2回大規模氾濫減災協議会

- 地域住民（特に要配慮者）の皆様の早期避難行動に繋がるよう、地域の防災リーダーである自主防災組織や要配慮者支援を行っている地域包括支援センター等での防災講座を実施予定。
- 防災講座は、**水害リスクや入手可能な防災情報解説**や**マイ・タイムライン**など避難行動を考える**ワークショップ**等について、**新型コロナ感染防止を踏まえ、対面だけでなくweb講座での実施も検討中。**

<水害リスクや防災情報をわかりやすく解説>



防災をわかりやすく解説



R1 三重県北勢浸水（実績）



ケーブルテレビでの映像配信(ZTV)



地域交流センター



川の防災情報

地域の皆さんが入手できる防災情報

<楽しく防災を学ぶワークショップ等>



自らの避難行動を考えるシートを活用した講座
(台風・大雨に備えるマイ・タイムラインをつくらう！)



事例：豊橋創造大学学園祭でのワークショップ



いざという時に役立つ防災グッズづくり
事例：商業施設での防災イベント

ゴミ袋で合羽(ポンチョ)

さあ、避難する時。合羽がない！
そんな時は、ゴミ袋で手作り合羽を作りましょう。

- ①ゴミ袋の底を上にして、右から25cmほどの位置に切り込みを入れる。
次に斜線部分を切り取り、短い赤線部分を2カ所切り離す
- ②左側の折り目(赤線の部分)を切り離す
- ③開いて、三角の部分に頭を入れて、2本のひもを結びと出来上がり

④ 危機管理型水位計と簡易型河川監視カメラの設置

R2年度 第2回大規模氾濫減災協議会

- 洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計を開発することで、**水位計未設置河川や地先レベルのきめ細やかな水位把握が必要な河川への水位計の普及を促進し、水位観測網の充実を図る。**
(R2.4時点で、三重河川国道事務所にて53基、三重県にて211基設置)
- 機能を限定した低コストの簡易カメラ（簡易型河川監視カメラ）を設置し、**多くの地点で河川状況を確認することで従来の水位情報だけでは伝わりにくい「切迫感」を共有し、円滑な避難を促進。**
(R2.7時点：三重河川国道事務所にて37基設置 三重県にて2基設置 (R2年度中に38基設置予定))

<簡易型監視カメラの閲覧方法（川の水位情報より）>



川の水位情報
<https://k.rever.go.jp/>



<川の水位情報>

- ・危機管理型水位計・通常水位計・**河川カメラ(簡易型河川カメラも含む)**が同一画面上に表示。
- ・**氾濫するまでの程度の余裕がある**リアルタイムに確認。
- ・**河川カメラ(簡易型河川カメラ含む)により、河川の状況を画像にて確認**



洪水時は事務所HP・Twitterでも防災情報を発信しています
HP:<https://www.cbr.mlit.go.jp/mie/>
Twitter:https://twitter.com/mlit_mie

令和2年(2020年) 7/5 No.1559

広報すずか

SUZUKA

災害対策用
フライベートルーム

鈴鹿市

特集 台風・集中豪雨に備える

表紙写真

間もなく、台風・集中豪雨のシーズンがやってきます。市では段ボールベッドの設置訓練を行うなど、職員一人一人のスキルアップを行い、避難所開設に向けて備えています。

P16 情報誌1 マイナンバーカードセンター開設
P17 元気なすずか 情報局
お知らせ・催し物
P27 ひろげよう人権尊重の輪

さあ、鈴鹿。



台風・集中豪雨に備える

～身を守るために 今、私たちにできること～

近年、全国的に台風や集中豪雨による被害が多発しています。今年も到来する台風シーズンを前に、風水害から身を守るため、今、私たちにできる備えについて考えます。

台 風や豪雨などにより災害の危険性が高まった場合、気象庁やそれぞれの自治体から段階的に気象警報や避難情報が出されます。こうした情報を収集し、正しく理解することで、スムーズな避難行動へと移ることができます。

気象警報の発表基準

各種の気象警報は、気象庁が地域ごとの基準値に基づいて、市町村単位で発表します。

- **注意報** 災害発生のおそれがあるときに、注意を呼び掛けるために行う予報。大雨、洪水、強風など16種類
- **警報** 重大な災害が発生するおそれがあるときに、警戒を呼び掛けるために行う予報。大雨、洪水、暴風、高潮など7種類
- **特別警報** 警報の発表基準をはるかに超える大雨などが予想され、重大な災害が発生するおそれが著しく高まっている場合に、最大級の警戒を呼び掛けるために行う予報。大雨、暴風、高潮など6種類

避難情報の発令基準

- **河川氾濫** 河川の水位の上昇や河川の氾濫・越水などの状況、堤防の決壊などを考慮し、河川ごとに定めた避難対象地域(河川洪水浸水想定区域)に対して発令します。
- **土砂災害** 大雨などにより、土砂災害の危険がある地域(土砂災害(特別)警戒区域)に対して発令します。
- **高潮災害** 台風接近に伴う気圧の低下による海面の上昇と、強い風による海岸への海水の吹き寄せにより、高潮被害の危険性が高まった場合に、高潮浸水想定区域に対して発令します。



迅速な避難に向けて情報収集を

市などでは、さまざまな情報伝達方法を用いて、各種の避難情報や避難所開設情報などを発信しています。災害に備えるため、積極的に情報収集を行いましょう。

このような手段で情報収集を!

- 携帯電話へ配信される緊急速報メール
- 市ホームページ
- 市Facebook
- 市Twitter
- 市メルモニ災害メール

※市から災害に関するメールを送信します。
市ホームページ(<http://www.city.suzuka.lg.jp/merumoni/index.html>)から登録できます。

- コミュニティFM(鈴鹿市緊急防災ラジオ:鈴鹿ヴォイスFM78.3MHz)

※緊急時に自動で電源が入り、緊急放送が流れるラジオで、レンタルで利用できます。詳しくは、株式会社鈴鹿メディアパーク(☎378-6267)へお問い合わせください。

- NHKや三重テレビのデータ放送
- 防災スピーカー

※小・中学校、公民館などを中心に、市内に93カ所設置しています。

- ケーブルテレビ
- 緊急L字放送

※CNSの加入者であれば、台風や地震発生時にお持ちのテレビ(121ch、111ch)で視聴できます。



防災スピーカー

緊急防災ラジオ

CNS (株)ケーブルネット鈴鹿の無料アプリは(CNSコネク)

市内22カ所

ライブカメラで道路や川の状況を 確認できます!

実際のカメラ映像が
あなたのスマホで見られる!

ダウンロードはこちら



▲竜切川



App Store

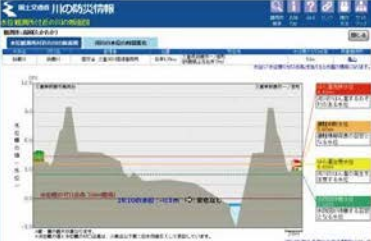


Google Play

市では、土砂災害危険度分布や河川の水位情報などの防災気象情報を活用し、避難情報を発令しています。防災気象情報は、下記ホームページで確認することができます。



土砂災害の危険度
三重県土砂災害情報提供システム
<https://www.sabo.pref.mie.jp>

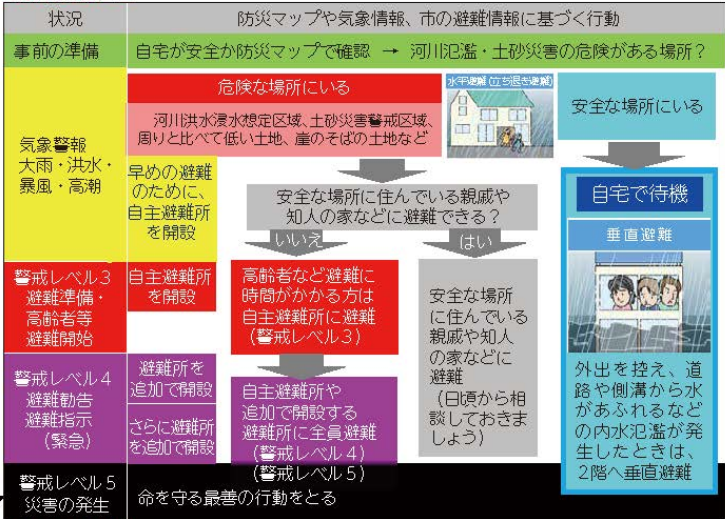


河川の水位情報
国土交通省【川の防災情報】
<https://www.river.go.jp/kawabou/iptop/Gaikyo.do>

円滑な避難に向けて

気象情報の発表に伴い、市民の皆さんが行うべき避難行動を紹介します。

避難行動フロー



危険度

状況	防災マップや気象情報、市の避難情報に基づく行動
事前の準備	自宅が安全か防災マップで確認 → 河川氾濫・土砂災害の危険がある場所?
気象警報 大雨・洪水・ 暴風・高潮	危険な場所にいる 河川洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、 周りと比べて低い土地、崖のそばの土地など 安全な場所にいる 自宅待機 垂直避難 外出を控え、道路や側溝から水があふれるなどの内水氾濫が発生したときは、2階へ垂直避難
警戒レベル3 避難準備・ 高齢者等 避難開始	自主避難所を開設 安全な場所に住んでいる親戚や 知人の家などに避難できる?
警戒レベル4 避難勧告 避難指示 (緊急)	避難所を追加で開設 さらに避難所を追加で開設 自主避難所や追加で開設する 避難所に全員避難 (警戒レベル4) (警戒レベル5)
警戒レベル5 災害の発生	命を守る最善の行動をとる

避難所の開設

気象警報(大雨、洪水、暴風、高潮)が発表された場合には、はじめに自主避難所が開設され、災害の危険度(警戒レベル)が高まった場合に、段階的に避難所を追加開設していきます。豪雨や暴風時の屋外避難は危険です。早めの避難を行いましょう。

状況	皆さんの行動	風水害の危険度に応じて開設する避難所
気象警報 大雨・洪水・ 暴風・高潮	早めの自主避難	
警戒レベル3 避難準備・ 高齢者等 避難開始	危険な場所から 高齢者などは避難し、 その他の方は避難準備	① 自主避難所27カ所 ・地区市民センター併設公民館20カ所 ・単独公民館3カ所(一ノ宮、神戸、菱宕) ・小学校体育館4カ所(長太、真田、白子、鼓ヶ浦)
警戒レベル4 避難勧告 避難指示 (緊急)	危険な場所から 全員避難 ※ 避難所や安全な 場所へ避難	② 追加で開設する避難所 ・河川氾濫、土砂災害、高潮災害の危険度に応じて、 小学校体育館(国府、加佐登、牧田、若松、稻生、 栄、椿、庄内など)を追加で開設
警戒レベル5 災害の発生	命を守る 最善の行動をとる	③ さらに追加で開設する避難所 ・災害の発生や危険度がさらに高まった地域周辺の 小学校体育館を、状況に応じて追加で開設
大雨・洪水・暴風・高潮の 各気象警報がすべて解除		④ 避難所の閉鎖 ・避難者が全員帰宅後に閉鎖

危険度

新型コロナウイルス感染症予防対策

～避難所での安全を確保するために～

避難所での密閉空間、密集場所、密接場面の「3つの『密』」をできるだけ避けるといった新型コロナウイルスなどの感染症予防対策を行うため、今年度、気象警報(大雨、洪水、暴風、高潮)が発表された場合は、通常よりも多くの避難所を開設します。

◆気象警報(大雨、洪水、暴風、高潮)の発表時に開設する避難所33カ所

○自主避難所27カ所

- ・地区市民センター併設公民館20カ所
- ・単独公民館3カ所(一ノ宮、神戸、愛宕)
- ・小学校体育館4カ所(長太、箕田、白子、鼓ヶ浦)

○感染症予防対策として新たに開設する避難所

- ・小学校体育館6カ所(国府、加佐登、牧田、若松、稻生、栄)

◆避難所での感染症予防対策のお願い

避難所では、個々の衛生用品などが十分に準備できません。避難の際は、各自で感染症予防対策として、以下の取り組みをお願いします。

○マスクの着用

○消毒液、消毒シート、手拭き用ペーパータオル、ティッシュペーパー、ゴミ袋などの衛生用品、体温計、常備薬の持参

※消毒液は避難所でも設置します。

○飲料水、非常食の持参

○上着、肌掛けの持参

※避難所で換気のために窓を開ける場合がありますので、肌寒い場合があります。

○上履き、スリッパの持参

○手洗い、うがい、咳エチケットの実施

○避難所では、避難者同士の間隔を2m以上あけてください。



避難所で活用するプライベートテント



避難所開設時に活用する「感染症対策」用ボックス

避難所では、換気、消毒液の設置、避難者への体調の聞き取りと体温の測定、体調不良の方の専用スペースの確保などの対策を行いますので、ご協力をお願いします。

「3つの『密』」を避けるためにご協力を

これからの集中豪雨や台風の季節を迎えるにあたり、避難所での「3つの『密』」をできるだけ避けるため、市民の皆さんには、下記に示す「3つのお願い」へのご協力をお願いします。

また、大規模災害に備えた自助の対策として、飲料水や非常食などの家庭での防災備用品に、マスク、消毒液、体温計などの感染症対策用品も加えていただきますようお願いいたします。

【3つのお願い】

1. 自宅が安全な場所かどうかを防災マップで確認し、自宅での安全確保が可能な場合は、できるだけ自宅で待機してください。
2. 親戚や知人の家など、避難所以外の安全な場所への避難をご検討ください。
3. 避難先が確保できない場合や緊急を有する場合はマスクを着用するなど、各自での感染症予防対策を行った上で、開設している避難所へ、早めに避難してください。



危機管理部長 山本 浩

2020-7-5

防災啓発活動についてお知らせします

市では、市民の皆さんの防災意識の向上に向け、地域や企業・団体、学校などを訪問し、災害に関する正しい知識や備えについて、防災研修会や防災訓練を実施しています。

防災研修会

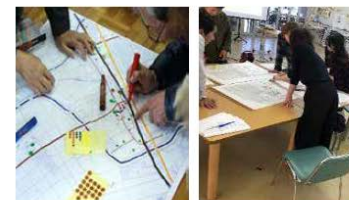
河川洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、気象情報、避難情報、避難の方法、避難所の開設基準などの内容のほか、家庭や地域で行う災害への備えなどについて学びます。



防災研修会

防災訓練

避難訓練、避難所開設・運営訓練、自主防災隊の訓練、図上訓練、避難所運営ゲーム(HUG)などの体験を通じて、防災に関する知識を習得します。

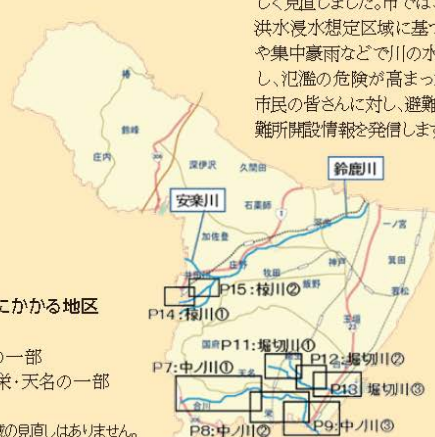


防災図上訓練

※新型コロナウイルス感染症予防のため、参加者にマスクの着用をお願いするとともに、今後の感染拡大の状況によっては、防災研修会や防災訓練の開催を延期する場合があります。

中ノ川、堀切川・釜屋川、棕川の洪水浸水想定区域図

新しい河川洪水浸水想定区域図は、P7～P15に掲載していますので、自宅が浸水する恐れがあるか事前に確認しておきましょう。なお、新しい河川洪水浸水想定区域図は、鈴鹿市ホームページの防災マップ(<http://www.city.suzuka.lg.jp/safe/index2.html>)でも確認できます。



◆新しい河川洪水浸水想定区域にかかる地区(避難対象地域)

- 中ノ川:栄・天名・稻生・白子の一部
- 堀切川・釜屋川:稻生・白子・栄・天名の一部
- 棕川:井田川の一部

※鈴鹿川、安楽川の河川洪水浸水想定区域の見直しはありません。

鈴鹿市防災マップに掲載されている三重県河川(中ノ川、堀切川・釜屋川、棕川)の洪水浸水想定区域について、三重県が令和元年5月に新しく見直しました。市では、この河川洪水浸水想定区域に基づき、台風や集中豪雨などで川の水位が上昇し、氾濫の危険が高まった場合に、市民の皆さんに対し、避難情報と避難所開設情報を発信します。

6 2020-7-5